

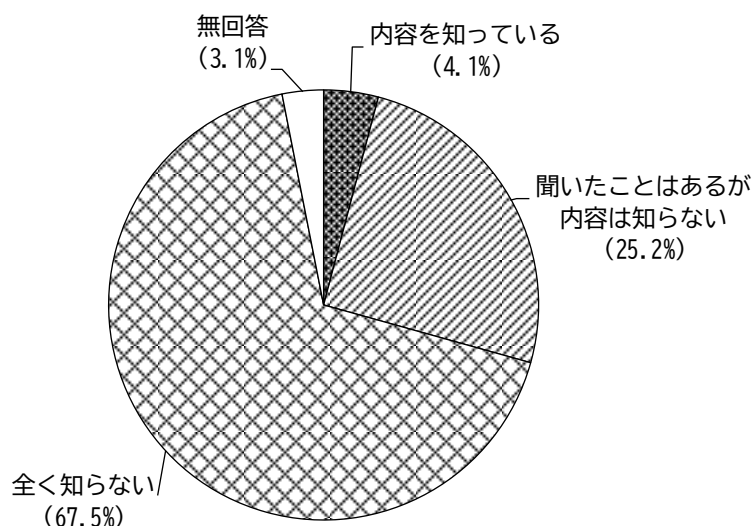
2022中野区区民意識・実態調査(子どもの権利部分抜粋)

2.2 子どもの権利について

(1)「中野区子どもの権利に関する条例」の認知度

「全く知らない」が6割後半

問 42 子どもの権利を保障し、子どもにやさしいまちづくりを推進することを目的とした「中野区子どもの権利に関する条例」があることを知っていますか。(○は1つ)



n=1,016

「中野区子どもの権利に関する条例」の認知度を聞くと、「全く知らない」(67.5%)が6割後半で最も高く、「聞いたことはあるが内容は知らない」(25.2%)が2割半ば、「内容を知っている」(4.1%)は1割未満となっている。

～ 調査の概要 ～

【調査対象】 18歳以上の中野区民

【標本数】 2,000人

【有効回収数】 1,016人(50.8%)

【抽出方法】 無作為抽出法

【調査方法】 郵送配布、郵送回収・インターネット回収併用

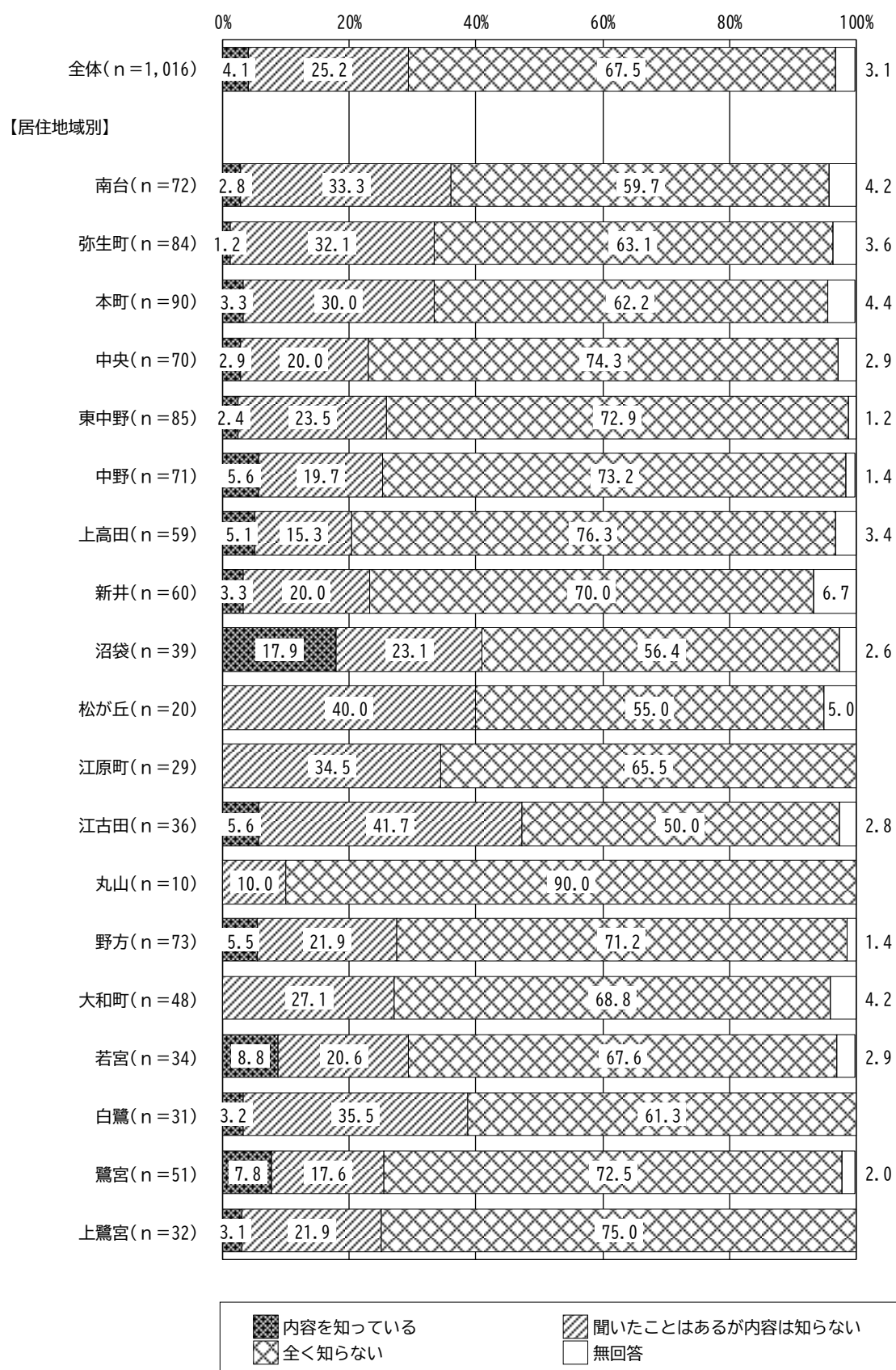
【調査期間】 令和4年9月26日(月)～令和4年10月20日(木)

性別でみると、「全く知らない」は女性に比べ男性で高くなっている。

年代別でみると、「全く知らない」は年代が高くなるにつれ徐々に低くなる傾向にあり、20 歳代以下で 8 割半ばと高く、70 歳代以上で 5 割前半と低くなっている。



居住地域別でみると、「内容を知っている」は沼袋で1割後半と高く、「全く知らない」は中央、上高田、上鷺宮で7割半ばとやや高くなっている。

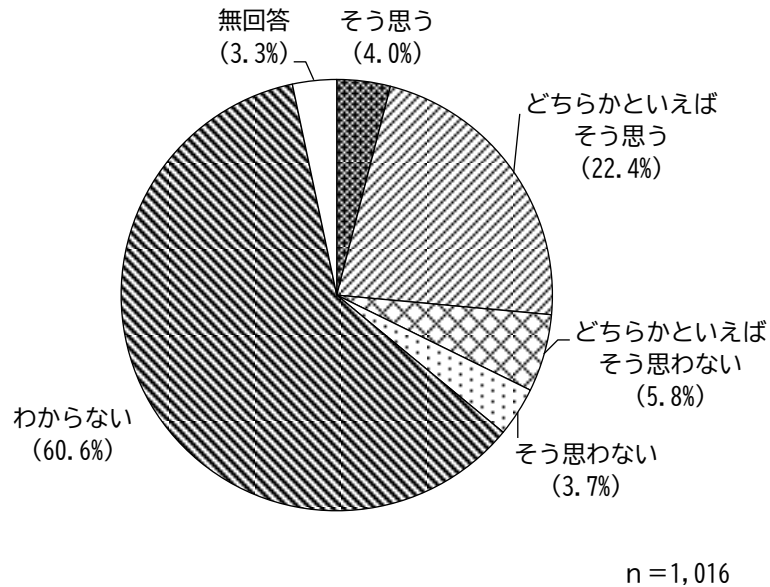


※属性毎のサンプル数が30を下回る場合は参考値とみなし比較対象としない。

(2) 子どもの権利

「《そう思う》（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」）が2割半ば

問 43 中野区において、子どもの権利（生命・生存・発達の権利、意見表明権、子どもの最善の利益、差別の禁止など）が守られていると思いますか。（○は1つ）



子どもの権利が守られていると思うか聞いたところ、「そう思う」(4.0%)と「どちらかといえばそう思う」(22.4%)を合わせた《そう思う》(26.4%)は2割半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(5.8%)と「そう思わない」(3.7%)を合わせた《そう思わない》(9.5%)は1割未満となっている。

性別でみると、特徴的な差はみられない。

年代別でみると、「《そう思う》」は30歳代で約3割と最も高くなっている。

